

発行月日 令和5年5月20日
〒238-0026 神奈川県横須賀市小矢部2-14-1
☎046-851-2362 FAX 046-851-2332

社会福祉法人春光学園
社会福祉法人春光学園後援会

児童養護施設 春光学園 園長の交代を迎えて

理事長 森田 常夫

春光学園の園庭の片隅に立つ一本の桜の木は、毎年春に見事な花を咲かせています。永年に亘って、園庭で遊ぶ子ども達を見守り、子ども達や職員達を楽しませてくれています。

そんな桜の花に見送られて、この春一人の職員が春光学園を去ることになりました。その職員とは、37年の永きに亘って、春光学園の職員として子ども達と生活を共にしてきた、児山園長その人です。園長定年まで数年残している中で、突然の退任に戸惑いもありましたが、慰留も叶わず、退任することになりました。

児山さんの在任中は、子ども達からは「コヤマッチ」と呼ばれて慕われる一方、子ども達の支援のために、多くのボランティアの方々や団体との交流を深め、施設の中で委縮しがちな子ども達や職員に、楽しみや日々の充足感を感じられるよう努力してこられました。

改めて、永年に亘るご尽力に心から感謝と敬意を表したいと思います。

後任の園長には、横須賀市教育委員会や横須賀市のこども育成部などで仕事をされてきた、原田修二さんをお迎えすることになりました。

児童養護施設春光学園は78年の歴史を刻んでいますが、子ども達を取り巻く様々な環境は、時代と共に変化しており、これからも子ども達の生活や、職員の仕事の内容は、微妙に変化していくものと考えられます。原田園長には、こうした状況の中で舵取りをしていただくこととなりますが、子ども達、職員達と一体となって、子ども達が安心して、自信を持って自立していけるよう、春光学園の運営にあたっていただきたいと思います。

～園長退任のご挨拶～

前園長 児山 秀一



後援会の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび令和5年3月31日をもちまして、
社会福祉法人春光学園 児童養護施設 春光学園を退職いたしました。

昭和、平成、令和と永きにわたり無事勤務できましたことは、ひとえに皆様の温かいご支援とご懇情の賜物と存じ、有り難く厚く御礼申し上げます。

今後とも春光学園に対し、変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

～園長就任のご挨拶～

新園長 原田 修二

初めまして。4月より縁あって春光学園の園長を務めさせていただくことになりました原田修二と申します。どうぞよろしく申し上げます。園の生活は4月から始まるわけではありませんが、学園生は4月に、幼稚園に3名、小学校に4名、中学校に2名、高校に5名と新たなステージに向かって進学しました。入学式に向かう子どもたちの晴れやかな姿をみることは、なんとも心躍る気持ちになります。私は、前児山園長のように、児童養護施設の経験も児童相談所の経験もありません。ただはるか昔教員を志した時がありました。その時は、志ならず教員になることは出来ませんでした。この度子どもと関われる機会をいただき、夢がかなった気がします。

コロナ禍の中、子どもたちがコロナに感染し、クラスターが発生したり、多くの園の行事が中止や縮小になり子どもたちも落ち着かない日々を過ごしてきたこの3年間だったと思います。コロナ感染症が2類から5類になることから、園の日常生活も活動も、コロナ禍前に戻っていき、安心して過ごし、なおかつ楽しみを多く味わえる学園生活に戻っていくことを願っています。

児童養護施設の課題の一つに、卒園後のアフターケアの問題があります。このことについて後援会と一緒に取り組んでいく必要があると考えています。経験も知識もありませんが、微力ながら、職員と一丸になりまして、園長の職務を務めてまいります。皆様には今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





祝・入園、入学！



新型コロナウイルスの感染対策が緩和され、感染拡大前のような日常生活に戻りつつあります。子ども達もマスクを外し元気よく外で遊ぶ姿が見られ、どこか長期間の我慢から解放されて生き生きとしているような様子にも感じられました。しかしながら当園は集団生活の場でもあるため、今後も引き続き必要な感染対策を実施し、気を引き締めて生活していきたいと思えます。

今年も多く子ども達が入園・入学しました。相武幼稚園に3名、衣笠小学校に4名、衣笠中学校に2名、県立金沢総合高等学校に1名、県立三浦初声高等学校に2名、緑ヶ丘女子高等学校に1名、三浦学苑高等学校に1名がそれぞれ入学しました。新しい環境に期待と夢を膨らませながら日々頑張っています。



新入学・入園を祝う食事会

4月3日には(社)日本中国料理協会湘南支部様の煌蘭においての「新入学を祝う会」の招待が行われ、感染対策を十分にとったうえで、おいしい中国料理をいただくことができました。

また、4月4日には、日本水産観光(株)様のにぎり一丁において「入学入園を祝う会」の招待があり、おいしいお寿司をご馳走していただきました。皆様の応援を励みに、新入学・入園の子ども達が良いスタートきって新生活に力を注ぐことを期待しています。日本中国料理協会湘南支部様・煌蘭様、日本水産観光(株)様・にぎり一丁様、毎回の招待ありがとうございます。



各学校・幼稚園卒業・卒園式

3月1日に緑ヶ丘女子高等学校、3月2日に横浜高等学校、3月3日に三浦学苑高等学校、3月8日に衣笠中学校、坂本中学校、3月15日に大楠幼稚園、3月17日に衣笠小学校と、各校の卒業式、卒園式が行われました。春光学園より通学・通園していた卒業・卒園の子ども達が参加しました。今年度は新型コロナウイルスの感染対策も緩和され、マスク着用なしでの参加や校歌の斉唱などコロナ禍以前のような卒業式がとりおこなわれました。子ども達は無事に卒業できたことを喜んでいました。



春光学園卒業卒園式



今年も令和5年3月10日に「令和4年度春光学園卒業卒園式」を実施いたしました。3名の卒園生を春光学園後援会会長の岩崎様、副会長の小田切様、在日米海軍横須賀基地NAVFA

C司令官ご夫妻をお招きしてお祝いしていただきました。

春光学園後援会会長岩崎様より就職支度金、奨学金の授与、在日米海軍横須賀基地NAVFA C司令官より卒業のお祝いの品の授与が行われ、又、来賓の皆様からの温かい励ましの言葉や記念の品を頂き、卒園生の皆はこれからの進路に期待を膨らませていました。

言い合いになる事や叱られることもありましたが、今思うと私の為に言ってくれていた事だったんだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。学園を出てからの生活は寂しい気持ちもありますが、将来の夢に向かって頑張っていきたいと思えます。

後援会の皆様、ベースの皆様、関係者の皆様、今まで本当にありがとうございました。今後ともよろしくお祈りいたします。



冬のレクリエーション

1月6日に女子児童たちが東京ディズニーランドへ。1月13日に幼児さんたちがアンパンマンミュージアムへ。2月26日に男子児童たちが長野県の佐久スキーガーデンへそれぞれお出かけに行きました。日頃の行いが良いのか天候にも恵まれ、子どもたちはそれぞれ素敵な思い出を作ることができました。

卒園生からのことば

学園で過ごしてきた日々を振り返ると様々な思い出があります。ベースの方々とのBBQ、ハロウィンイベント、クリスマスパーティーがとても印象に残っています。楽しい思い出をありがとうございました。学園では普通のご家庭では体験できないような事を多く体験することができました。

高校に入学してからはコロナウイルスの影響で思ったような高校生活が送れず、学園での生活も制限され苦しい思いをしてきました。ですが、学園の先生方、後援会の皆様、様々な人たちのおかげで乗り越えることができました。長い学園生活の中で、時には職員と



令和5年度 児童養護施設春光学園 新採用職員

<p>沼田 省三 (ぬまた しょうそう)</p>  <p>趣味 旅行</p>	<p>永谷 優真 (ながたに ゆうま)</p>  <p>趣味 ゲーム</p>	<p>原 有里奈 (はら ゆりな)</p>  <p>特技 水泳・卓球</p>	<p>成田 拓未 (なりた たくみ)</p>  <p>趣味 映画鑑賞</p>
	<p>中川 温子 (なかがわ あつこ)</p>  <p>趣味 身体を動かす事</p>	<p>深澤 智美 (ふかさわ ともみ)</p>  <p>特技 スキー</p>	<p>よろしくお祈りいたします</p> 

～ご挨拶～



社会福祉法人春光学園後援会 副会長 小澤 長幸

春光学園後援会会員の皆様に日頃より児童福祉の運営にあたりまして、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。さて、後援会発足から 10 年を迎えることになりました。丸山前会長から、岩崎会長へとバトンが引き継がれ新体制になったものの、今年も新型コロナ感染対策により各種行事等が見送られる年となりました。

当学園は、養育制度の中で、学園職員さん達も寄り添って懸命にサポートしてくださっています。

学園の現行では対応が困難な学習塾や個別学習支援、卒業後の奨学金制度や自立支援に、ご寄付頂いております。ありがとうございます。

会員様の中には七五三・お誕生日・学校の入学・卒業・卒業後の成人式など、格別にご支援いただいております。皆様にお祝いしていただいた子ども達にも格別な思い出となる事と思います。

会員の中には七五三や成人式の着物の着付けなどご用意いただき頭が下がります。この子どもたちがこれからも色々な方に、日常的な幸せを触れるチャンスを作っていきたいと願っております。

ご支援の輪が今以上に広がっていく事を願い長年の皆様のご支援に心より感謝申し上げます、10 周年の挨拶とさせていただきます。

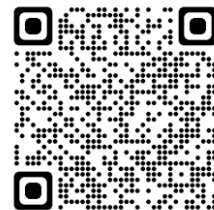


キャリア・カウンセリング・プロジェクト(CCP)

10 年間の歩みを振り返る

春光学園では主に中学生と高校生を対象とした自立支援のための取り組み「キャリア・カウンセリング・プロジェクト(略して CCP)」を、この 10 年間、途切れることなく継続しています(今年は既に第 11 期生が活動を開始しました)。CCP は、IT 機器・講師・見学体験等の費用をすべて後援会の援助でまかっています。活動スタイルは月に 1 回×年間 10 回、金曜 19 時もしくは 20 時から会議室に 3~6 人の児童と 4~5 人の職員が集まり、約 1 時間、「楽しくおとなになろう!!」というテーマで様々な取り組みを実践しています。

このプロジェクトは 2013 年、静岡大学教育学部の井出智博准教授(現在は北海道大学大学院教育学院)の協力のもと、施設内でワーキンググループ(学童寮主任と副主任・家庭支援専門相談員・心理士等で構成)を立ち上げ、試行錯誤を重ねながらスタートしました。当時、施設では子どもたちの不登校や怠学、集団万引きや暴力をふるう等の問題行動が立て続いていたほか、卒園して就職した児童もすぐに離職して居所が定まらなくなるなど、全般的に落ち着かない状況が続いていました。そのような中で職員としては、単に生活上の支援だけでなく、「自立」に向けてもっと様々なことを伝え、心を育む作業が必要だったのではないかと反省と、このような悪循環を食い止める



岩崎学術出版社から取り組みをまとめた本も出しています!

子どもの未来を育む自立支援

生い立ちに困難を抱える子どもを支えるキャリア・カウンセリング・プロジェクト



子ども自身の力や可能性、レジリエンスに基づく、キャリア・カウンセリング・プロジェクトを提案。精神的なレジリエンスを形成も。

著者	井出 智博 編著 片山 由季 編著
ジャンル	発達・思春期・老年
出版年月日	2018/10/31
ISBN	9784753311453
判型・ページ数	B5・176ページ
定価	3,080円(本体2,800円+税)
在庫	在庫あり

ためには、できるだけ早い時期から時間をかけ、根本的な働きかけを行っていかなければ…という強い焦りを抱いていました。とはいえ、具体的に何から取り組んでいけばいいのか悩みあぐねていたところに、井出准教授から「一緒に CCP の開発に取り組んでみないか」という提案があり、2013 年より第 1 期生(男子 6 名)の CCP がスタートする運びとなりました。

あれから 10 年の歳月が流れましたが、毎年様々な改変を加えつつ、CCP は現在も活動を続けています。参加者は 11 年間で 39 名(延べ 91 名)に及び、毎年在籍している中高生の 6~8 割程度が自主的に参加を希望する、子どもたちに人気の高いプロジェクトとなっています。中には

何年も連続で参加する「リピーター」もいて、これまでに6年皆勤(中1～卒園まで全参加)が3名、3年以上の参加が8名いるなど、園の取り組みとして定着している様子が見えられます。

実際の内容は、毎年必ず行う「鉄板」のプログラム(【おとなはどうやっておとなになったのか】…施設職員による今までの人生紹介／【2カ月人生体験ゲーム】…施設を出て就職してから2か月間の生活を、タカトミー社の『人生ゲーム』風に仕立てた施設のオリジナルゲームで体験する



「2カ月人生体験ゲーム」の様子

／【人生設計】…現時点から天に召されるまでの人生を自由に設計する、等)のほか、参加するメンバーの顔触れによっては、時には遠方の施設に見学に出かけたり(大学・工場等)、ゲストスピーカー(身近で働いている大人や進学・就職をしている卒園生等)を招いて話をしてもらったりなど、実に多岐にわたっています。また、カリモク家具 HP の3Dシミュレーターを利用した【理想のお部屋作り】(3Dの室内に家具家電を思いのままに配置できる)や、JALHPのダイ



高校生がデザインした理想の部屋

レクトパッケージを使った【妄想旅行計画】(提示された予算と期間を基に、各自が素敵な旅行プランを立てて皆にプレゼンする)も好評で、月1回のCCPの時間は大人も子どもと一緒にワイワイ騒ぎながら、楽しく将来について思いを巡らせる機会となっています。

もちろん、CCPの時間だけでは自立のために必要な知識すべてを網羅することはできません。しかし、この取り組みを通して職員が子どもたちに一番伝えたいことは、「おとなになることは楽しいよ!」という前向きなメッセージです。これまで児童養護施設で暮らす子どもたちには、社会の厳しさ・自立することの大変さ

を伝えることばかりが先行し、明るい将来設計を描くような機会がなかなか持てなかった、という反省があります。また、自立間際(高2～3)での話はどうしても知識的な伝達が中心になってしまい、どんな仕事をしたいのか・どんな生活を送りたいのか、といった「自立に向けての心の準備」に十分な時間を割くことができませんでした。CCPは、月にたった1時間という短い時間ではありますが、施設で暮らす仲間やそこで働くおとなと共に、自由に将来の夢について語り合い、自分はどんなことを大切にしたいのか・仲間は何をしたいと思っているのか、互いに耳を傾けじっくり考える時間として、今後も続けていきたいと考えています。最後に、CCP卒業生のコメントを紹介します。

Q: CCPに参加して良かったことがあれば教えてください。

1期生 R・Iくん(中2で参加): すごいめになったなと思うのが、あの年齢で本当にたくさんの大人と…先にいろいろなことを知っている・経験している大人と話せたという環境が、めっちゃ大事だった、すごいよかったなと思ってる。

1期生 T・Mくん(中2で参加): こういうまじめな会って、場を設けるとみんながまじめに取り組むから、その分、自分も恥ずかしくなく話せた。逆に人の話も、ああ、そういうこと、そういうのもあるな、って。俺は考えてなかったけど、そういうのもいいなって思った。

2期生 Y・Kさん(中1～3参加): こういう話って、ちゃんとすると難しい話じゃないですか。それを楽しくするために、人生設計とかゲーム形式でやるからいいのかなと思った。だからたぶん、中学生でも分かりやすかったのかも。

2期生 M・Oさん(中1～3参加): 楽しかった、本当に興味がわくような内容が多かったし。まずそれが一番大事だよ。だって、まずはやってみることが大事だから!

【2022年度・第10期生のプログラム】

	日程	Aグループ 19:00～20:00	Bグループ 20:00～21:00
1	4/22	おとなはどうやっておとなになったのか(心理職)【合同】	
2	5/13	いろいろな人生(中卒後編)	いろいろな人生(おとな編)
3	6/10	ストレンクス投票	大切にしたい価値観
4	7/8	卒園生のお話を聞こう(専門高校生 T・社会人 K)	
5	9/16	jobtag(興味)	Jobtag(価値観)
6	10/14	3Dシミュレーターで理想のお部屋作り【合同】	
7	11/5	2カ月人生体験ゲーム【合同】	
8	12/17	妄想旅行計画【合同】	
9	1/20	人生設計	人生設計
10	2/24	1年のふりかえりとまとめ【合同】	



令和5年5月20日

〒238-0015

神奈川県横須賀市田戸台 26

TEL : 046-822-0479

FAX : 046-822-0471

§ 園長あいさつ §



新緑が美しい季節となりました。後援会の皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと存じます。こども園では、去る4月8日(土)に、令和5年度の入園式を行いました。今年度は、30名の新しいお子さんをお迎えして、また、保護者の方も2名まで出席していただく事ができましたので、花壇のお花が咲き誇る中、久しぶりに賑やかに式を行うことができました。

新年度が始まり、はじめの頃はおうちの方との離れ際には大きな泣き声が聞こえてきましたが、少しずつ職員やお友達の顔を覚えてくれて、かわいい笑顔を見せてくれるようになりました。いちばん小さなお子さんは、まだ首の座らない3か月の赤ちゃんです。毎年のこの新しい出会いに感謝をして、一日も早く信頼関係を築き、「こども園が楽しい」と思ってもらえるよう、そして保護者の方が安心してお出かけになれるよう、職員一同力を合わせて努めてまいります。

今年度も、皆様のご理解とご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

§ お茶会 §

2月22日(水)、ゆり組5歳児の子どもたちは一年間のおけいこの集大成としてお父さん・お母さんを園にお招きし、お茶会を開きました。

お点前の順番を待つ間、「ドキドキする」などと言っていた子どもたちでしたが、本番ではとても堂々と、美味しいお茶を点てることができました。

お父さん・お母さんから「美味しいね」と声をかけられると、とても嬉しそうな表情を浮かべていた子どもたちでしたが、それを見守る保護者の方々も我が子の成長を感じられたようで、感慨深い表情を浮かべていらっしゃいました。



§ 卒園式 §

3月18日(土)、横須賀文化会館中ホールにて卒園式が行われました。当日はあいにくのお天気でしたが、コロナの規制もだいぶ緩和してきたため大勢の方に出席していただく事が出来ました。

園でお別れの言葉を練習していた際、今までの事を思い出したのか、泣き出してしまいう子もいましたが、本番ではみんなで息を合わせて堂々とお別れの言葉を述べたり、歌を歌ったりする事ができました。

楽しかった思い出を胸に、これからの生活も充実したものにして欲しいと願っています。



§ お別れ遠足 §

3月23日（火）、3歳児から5歳児までの子どもたちはお別れ遠足で『新江の島水族館』へ行きました。あいにくのお天気でしたが、みんなでバスに乗って出かけるということだけでも嬉しかったようで、朝から興奮気味の子どもたちでした。

イルカのショーでは、イルカがジャンプする度に「じょうずだね～」と、目を真ん丸にして驚いていました。

みんな揃ってお弁当も食べることができ、とても思い出深い一日となりました。



§ 入園式 §

4月8日（土）、本園・分園それぞれの園で入園式を行いました。

お天気にも恵まれ、保護者の方も2名まで来園していただけることになったため、数年ぶりに賑やかな式となりました。

小さなお子さんが多かったため、途中で飽きて泣き出したり眠ってしまったりしていましたが、保護者の方と一緒に最後までしっかり参加してくれました。

これから園で体験することを通して、すくすくと成長してくれることを願っています。



仲間になりました

4月からチーム三和の仲間になりました。それぞれに保育経験を積んだ、ベテラン揃いです。どうぞよろしくお願いいたします。



奥野 未来
(おくのみき)



細田 英里
(ほそだえり)



中岡 真紀
(なかおかまき)



小関 純子
(こせきじゅんこ)

§ 編集後記 §

令和5年度がスタートし、毎日あわただしく過ごしていますが、新入園の子どもたちもだいぶ園生活に慣れてかわいい笑顔を見せてくれるようになり、私たち職員もほっとしているところです。

これからは、お泊り保育や遠足・運動会など様々な行事にむけて少しずつ準備を進めていく予定です。子どもたちが毎日笑顔で登園してきてくれるよう、職員一同力を合わせて頑張りたいと思っています。

ありがとうございました

一般財団法人 篠原欣子記念財団様より助成金をいただき、
中高生の下駄箱を買い替えました。

今まで設置されていた下駄箱は全体的に錆びており、扉が歪み
開閉出来ない箇所もあり、その都度油をさすなど行ってきました
が、篠原欣子記念財団様の助成金で買い替えることが出来ました。大切に使用します。



ライジングサンの皆様より、子ども達がリクエストしたカラー
のランドセルを寄贈いただきました。

いただいたランドセルで毎日元気に登校しています。

ありがとうございました。



三菱電機ソシオールーツ基金様（三菱電機
株式会社鎌倉製作所従業員有志一同様）
よりジャー炊飯器と空気清浄機を寄贈
いただきました。

ありがとうございました。



令和5年1～4月にご支援を頂いた皆様

P.ENS 株式会社様・富澤工業様・藤原良子記念財団様・NM フードサービス様・リッチランド様・ニューリッチ様・子ども
レストラン大津様・昇英企画様・西来寺様・白赤稲荷神社様・キッチンカー協会様・横・横代理店倶楽部様・松山バレエ団公演
事務局様・聖ヶ丘教育専門学校様・ムッシュタルト様・トーヨー様・カーブスサンビーチ追浜様・カーブス YRP 野比様・カー
ブス横須賀大津様・カーブス衣笠栄町様・カーブスス久里浜様・カーブス横須賀中央様・パレス会館様・ライジング・サン様・C
HUM' S BAR様・今関商店様・ゴールデンパレス様・日産自動車追浜工場様・インストラスト様・神奈川県共同募金会・
FUJI 基金様・国際ソロプチミスト横須賀様・なかよし子ども食堂様・三菱電機ソシオールーツ基金様・三菱電機株式会社鎌倉製
作所従業員有志一同様

亀田様・濱田様・岩崎様・岡村様・山東様・松田様・関本様・遠藤様・小田切様・秋本(博)様・狩野様・デウィット様・生井様・
萬年様・藤崎様・児山様・ケイティ様・シミズ様（順不動）その他匿名の方を含め多数の皆様

令和4年度に継続してご支援いただいたボランティアの皆様

習い事奉仕 ～ 増田園子様（ピアノ教室） 作業奉仕 ～ すずらんグループ様

裁縫奉仕 ～ Miura Sewing Ohana 様・Balloon Shop Piume（公郷）猪股様

遊び奉仕 ～ 小田由美様・神渡哲也様・小幡紗央里様・衣笠地区社会福祉協議会様

毎月の誕生会ピザの寄贈 ～ 岩崎優子様（湘南衣笠ゴルフ）

たくさんのご支援、ありがとうございました！

職員募集

① 児童養護施設 春光学園 *望む保育士 常勤・パート職員



② 三和こども園 *保育教諭（保育士）常勤職員



③ みつわクラブ〈放課後児童クラブ〉*学童支援員パート職員



社会福祉法人春光学園では上記3施設で新規職員・パート職員を募集しています。

職員募集ポスターを掲示させていただける場合もご連絡いただければ幸いです。

連絡先：児童養護施設 春光学園 ☎046-851-2362 三和こども園・みつわクラブ ☎046-822-0479